

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターきみつ愛児園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園児の個性や特性に応じた療育支援を実施する。	それぞれの園児に合った個別目標への支援や、日常生活における基本的な動作及び知識技能が習得できるよう療育を実施する。	それぞれの園児の個性や特性を把握し、効果的な活動が展開できるように努める。
2	保護者との情報共有を図り、園児及び保護者に寄り添った支援を実施する。	園児の発達状況や個性を丁寧に把握し、個別支援計画に基づいた一貫した支援を行う。また、支援の中で、園児の様子や健康状態、発達の変化をこまめに保護者と共有することで、園児の成長を共に見守る姿勢を大切にしている。	園児の成長を保護者と当園と一緒に支える姿勢を大切にし、継続していくように努める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園児の活動の様子を定期的に発信しているが、メール配信の回数が少ない。	日々の療育業務が優先され、配信業務が滞ってしまう。	作業の分散化及び担当職員の整備に努める。
2			
3			